

平成 30 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

入学試験問題 外国語科目（英語）

注 意

- 1 試験時間は90分。
- 2 問題紙は 4 枚(表紙を除く)、解答紙は 4 枚。
- 3 設問 I、設問 II の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の使用は、不可とする。

【設問 1】次の英文を読み、下線部すべてを日本語に訳しなさい。

ここに、下記文献の該当箇所が入ります。

Rovane, C. (2002). Genetics and Personal Identity, in Burley, J. & Harris, J. ed. A Companion to Genetics. MA: Blackwell Publishing, pp245-247  
(The central philosophical debate about..... の文章から、The other is .....to be far-fetched. の文章まで掲載)

傍線部該当箇所は以下の通りです。

- He thought that.....body. And it was.....from animal identity.  
の連続した2文
- It must be admitted that.....and everyday practices. の文章から  
He reasoned that.....that the person remember them. の文章まで全て
- Ultimately, ..... bodily circumstances. の1文
- Having resisted.....から始まる文章の does genetics have.....から  
One concerns whether ..... be far-fetched. まで

注)

Locke：ジョン・ロック(1632-1704)、古典的イギリス経験論の哲学者

a prince and a cobbler：王子と靴直し(職人)

genetics：遺伝学

(Rovane, C. (2002). *Genetics and Personal Identity*, in Burley, J. & Harris, J. ed.  
*A Companion to Genetics*. MA: Blackwell Publishing, pp.245-247. より作成)

【設問2】 次の英文を読み、下線部①～④を日本語に訳しなさい。ただし、人名については原文表記のままでよい。

ここに、下記文献の該当箇所が入ります。

Thoburn, J.W. & Sexton, T.L. (2016). Family Psychology: Theory, Research, and Practice. California: Praeger, pp. 27-28

(The primary systems of ..... の文章から As such, ..... to achieve the system's objectives. の文章まで掲載)

傍線部該当箇所は以下の通りです。

- ・傍線① Relation systems have..... around them. の1文
- ・傍線② General System Theory provided ..... a unified system. の1文
- ・傍線③ In general system theory, ..... the interaction of constituent parts. の1文
- ・傍線④ As such, ..... to achieve the system's objectives. の1文

(Thoburn, J.W. & Sexton, T.L. (2016). *Family Psychology: Theory, Research, and Practice*. California: Praeger, pp.27-28. より作成)

4 / 4

H30.2期 前期一般(英語)5

平成30年度（第2期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

入学試験問題 外国語科目（日本語）

注 意

- 1 試験時間は90分。
- 2 問題紙は 6 枚(表紙を除く)、解答紙は 2 枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の使用は、不可とする。

設問一 次の文を読み題にし始めながら。

ここに、下記文献の該当箇所の一部改変された文章が入ります。

竹内洋『日本のメリットクラシー[増補版]構造と心性』東京大学出版会、2016年  
pp.64-66

(「近代社会の選抜がメリットクラシックな選抜を……。」の文章から「ディレンマ  
ではあるが、……近代社会の活力の源泉でもあった。」の文章まで掲載)

(竹内洋『日本のメリットクラシ―[増補版] 構造と人性』

東京大学出版会、2010年、六四〇六六頁より作成、一部改変)

問1 傍線部(一)～(五)の片仮名を適切な漢字に書き改めなさい。

問2 傍線部①の「メリットクラシ―社会の選抜は実は構造的ディレクタ」について、本文に即して具体的に説明しなさい。

問3 傍線部②「そつしたアイテムティ」とは、どんなアイテムか説明しなさい。

問4 傍線部③「それら」の示す内容を本文に即して説明しなさい。

問5 本文の内容を100字以内で要約しなさい。

設問二 次の文を読み聞こえさせてや。

ここに、下記文献の該当箇所の一部改変された文章が入ります。

石川幹人著『だまされ上手が生き残る一入門！ 進化心理学一』光文社新書  
2010年、pp.235-239

(「記号の概念作用が、……。」の文章から「結果として、……、と言えましょう。」の文章まで掲載)

4/6



(石川幹人著『だまされ上手が生き残る――入門・進化心理学』光文社新書、二〇一〇年、

二三五～二三九頁より作成、一部改変)

問1 傍線部（一）～（四）の漢字に仮名をひりなさい。

問2 傍線部①「弁舌の才を得」および傍線部②「しのぎを削っている」について、その意味を説明しなさい。

問3 傍線部③「よくもわろくも、想像力が幻想の世界に人類をいやがつたのです」について、本文に即して具体的に説明しなさい。

問4 傍線部④「社会的なだまし」について、本文にある例を用いて具体的に説明しなさい。

問5 傍線部⑤「だまされ上手がみんなで生き残る」について、本文に即して説明しなさい。

6/6

平成 30 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜)

人間形成論研究コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 3 枚。
- 3 設問 I は全員解答すること。また、設問 II については、問題を選択の上、解答すること。
- 4 解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の用紙に記入すること。

設問I 次の文章を読み、ソクラテスの教育実践とプラトンのイデア論について受験者の  
知るところを述べなさい。

ここに、

坂部恵著「<かげ>についての素描—<おもて>の解釈学試論2—」  
(『坂部恵集3』岩波書店、2007より)

の下記該当箇所が入ります。

該当箇所は、「奥深い洞窟の中に、……。」の文章から  
「これは、いまでもなく、……、物語の発端である。」の文章までです。

設問II 次の3問から二つを選択し、それぞれに答えなさい。

1 道徳教育と宗教教育との関係について論述せよ。

2 日本における「学歴主義」(学校入学歴が社会のなかで極端に重視される傾向のこと)  
の歴史的展開に関連して、一定の教育事象を取り上げながら論説せよ。

3 次にあげる項目から二つを選び、それぞれについて説明せよ。

年中行事

アニミズム

互酬関係

本質主義

通過儀礼

クロード・レヴィ=ストロース

平成 30 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

成人継続教育論研究コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 2 枚。

設問 以下の設問に答えなさい。

世界のグローバル化がすすむなかで、国際的に生涯学習が政策的課題となるのはなぜか。また、社会教育や成人教育の実践においてどのような点に留意する必要があるのか。以下の「概念」を4つ以上使いながら説明しなさい。

「概念」：個別化、ライフコース、参加、ローカル、協働、知識基盤社会

平成30年度（第2期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教授学習科学研究コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は...1枚（表紙を除く）、解答紙は...3枚。
- 3 問題紙中に志望する専門分野ごとの問題選択の方法が記してあるので、それに応じて問題を選択の上、解答すること。
- 4 解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の用紙に記入すること。

## 設問

志望する専門分野ごとに、次のとおり問題を選択し、解答すること。

○ カリキュラム論分野及び教育実践論分野を志望する者は、以下の①から③までの3問を選択して答えなさい。教育心理学分野及び学習心理学分野を志望する者は、以下の④から⑥までの3問を選択して答えなさい。

- ① 授業記録および授業評価の方法について分類した上で、それぞれの長所と短所を論じなさい。
- ② 任意の国をひとつ取り上げて、その国と日本の義務教育制度やカリキュラムを比較しつつ論じなさい。
- ③ 授業における教科書の役割について、視点を定めて論じなさい。
- ④ 「概念変化／概念変容 (conceptual change)」とは何か。具体例を挙げて説明しなさい。
- ⑤ 「学習の転移」を妨害する要因を挙げ、それらの妨害効果を低減させるための教育的方策について説明しなさい。
- ⑥ 児童・生徒の学習活動への内発的動機づけを高めるための手法のひとつとして、彼らの既存の信念に基づく予想とは合致しない例を提示するやり方が有効である場合、それはどのような心理的メカニズムによると考えられるか。視点を定めて論じなさい。

# 平成30年度（第2期試験）

## 東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

人間発達研究コース

入学試験問題（専門科目）

### 注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は2枚（表紙を除く）、解答紙は4枚。
3. 【共通】【A-1】【A-2】・・・の解答は、問題番号を明記の上、それぞれ  
別紙に記入すること。
4. 専攻する分野によって解答する問題が異なるので、注意すること。

「発達心理学」分野を専攻しようとするものは【共通】【A-1】【A-2】  
【A-3】の各問題に解答すること。

「発達障害学」分野を専攻しようとするものは【共通】【B-1】【B-2】  
【B-3】の各問題に解答すること。

<発達心理学分野>

【共通】 「社会的参照」とは何か。子どもの成長・発達、および発達障害と関連づけながら論じなさい。

【A-1】「親が子どもに与える影響」と「子どもが親に与える影響」について述べた上で、親子関係が相互的関係であることを説明しなさい。

【A-2】幼児の「ごっこ遊び」の成立と発達について「象徴機能」「仲間関係」「社会性発達」という用語を用いて説明しなさい。

【A-3】Marcia(1966)による「自我同一性ステータス」について、具体的な地位とそれを判定する基準について説明しなさい。

＜発達障害学分野＞

【共 通】 「社会的参照」とは何か。子どもの成長・発達、および発達障害と関連づけながら論じなさい。

【B-1】 通級による指導について、以下のタームを交えて説明しなさい。  
「教育課程」、「平成18年」、「高等学校」、「幼稚園」

【B-2】 発達障害児・者の教育アセスメントにおいて全般的知的発達を把握するため  
に用いる検査について検査と発達障害の特徴を対応させて論じなさい。

【B-3】 自閉スペクトラム症とディスレクシアについて症候との関与が示唆される脳  
領域についてそれぞれ述べ、近年の発達障害を対象とした脳科学の知見とその  
傾向について論じなさい。

平成30年度 (第2期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜)

臨床心理研究コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚(表紙を除く)、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと(設問I～設問IIIの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問IVの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること)。

…………臨床心理研究コース 一般選抜および社会人特別選抜…………

【設問Ⅰ】 AD/HD の特性および心理的な支援について述べなさい。

(20点)

【設問Ⅱ】 心理療法の効果要因について、ランパート (Lambert) らの研究などを参考に、考えるところを述べなさい。

(20点)

【設問Ⅲ】 20代の男性が母親と共に来談した。母親は「先月から気分が落ち込んでいるようだ、大学にも行かず引きこもっていて心配」と、男性は「母親に言われたので来た」と話している。初回の面接形態として、①本人と母親同席での面接、②本人のみとの面接、③母親のみとの面接が考えられるが、それぞれの利点や注意すべき点をあげながら論じなさい。

(20点)

【設問IV】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。

(各5点)

(1) リ・ワーク

(2) REBT (rational-emotive behavior therapy)

(3) 原始反射

(4) ヘルマン・エビングハウス (Hermann Ebbinghaus)

(5) 少年法

(6) 仮面うつ病

(7) 尺度水準

(8) 田中ビネー知能検査

(以下余白)

平成 30 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育設計評価専攻

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 4 枚（表紙を除く）、解答紙は 3 枚。
- 3 設問 I 、設問 II の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。

設問Ⅰ 次の文章は、「状況的学習論」について書かれた文章の一部である。本文を読み、以下の問い合わせに答えなさい。

問1 「従来の学習モデル」の特質と課題について、200字程度で説明せよ。

問2 「学校という特殊な実践共同体」とあるが、どのような点で学校は「特殊な実践共同体」と考えられるか。本文の内容を踏まえて、400字程度で自らの見解を述べよ。

問3 「正統的周辺参加」の一例を挙げ、そこに生起する学習の内実、および教育者（教師）と学習者（子ども）の関係性について説明せよ。

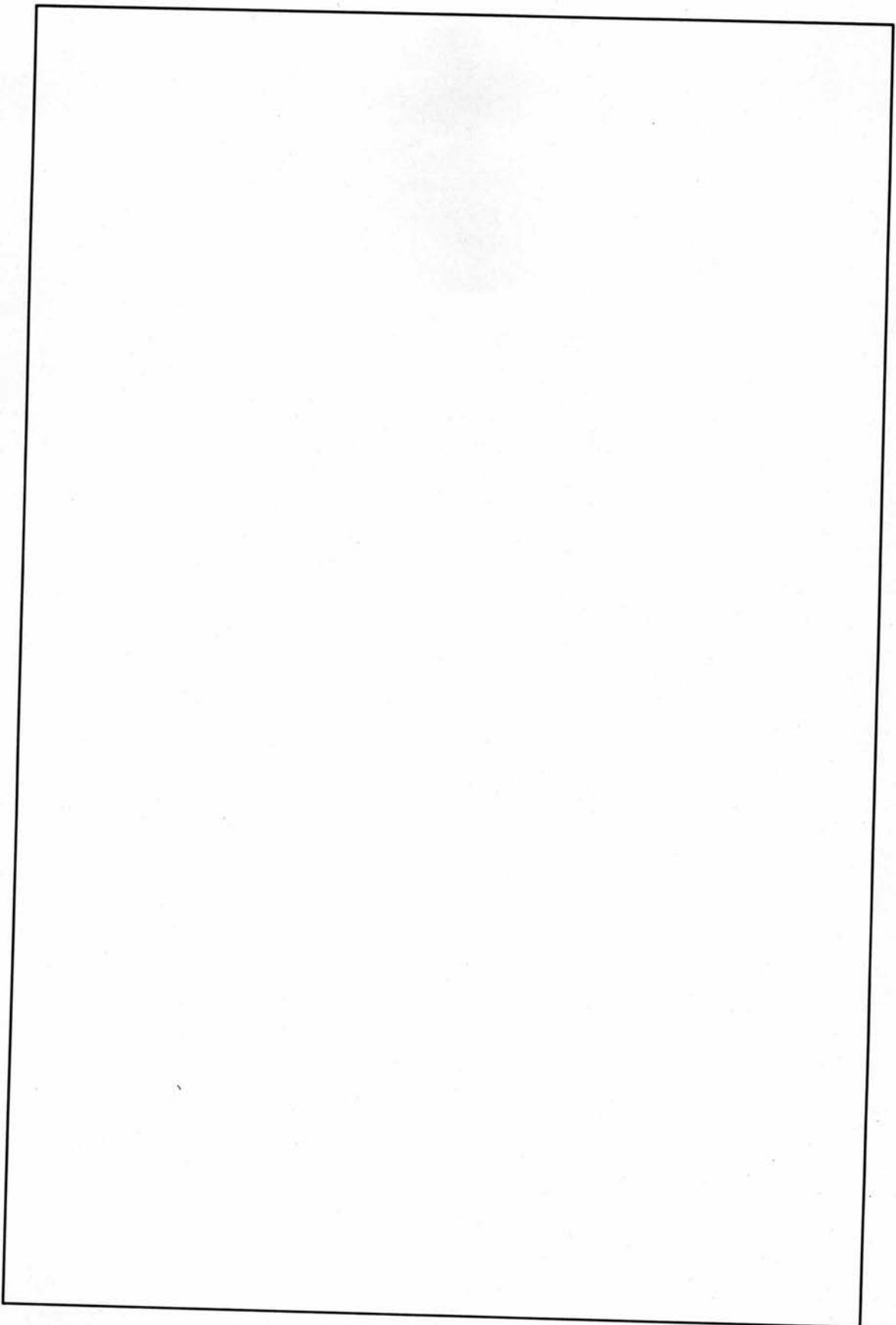
ここに、

下司晶「第5章 学校知の限界と可能性」（北野秋男・下司晶・小笠原喜康『現代学力テスト批判—実態調査・思想・認識論からのアプローチー』東信堂、2018年 pp.131-137）

から抜粋・一部改変された文章が入ります。

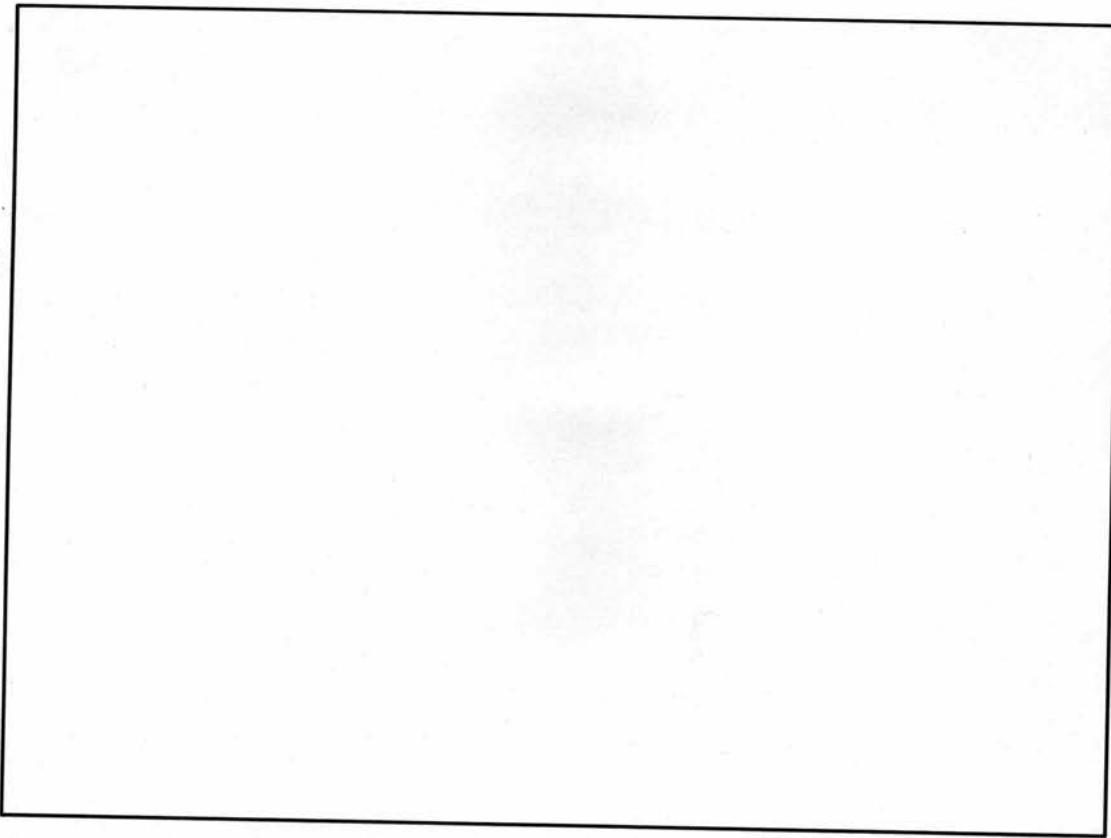
該当箇所は、

「私は毎年、……。」の文章から、  
「教師は……でなければならない。」の文章まで  
です。



2/4

H30.2期 前期一般(設計評価)3



(下司晶「第5章 学校知の限界と可能性」北野秋男・下司晶・小笠原喜康『現代学力テスト批判－実態調査・思想・認識論からのアプローチ』東信堂、2018年、131-137頁より抜粋。一部改変。)

3/4

H30.2期 前期一般(設計評議)4

設問Ⅱ 次の文章を読み、下線部「評価することがかえって学習行動に好ましくない影響を与える」ことに関して、実際にどのような状況が考えられるのかについて、現実の教育現場における測定場面を設定しつつ述べなさい。また、それを克服するにはどのような対処を行えばよいのかについても、測定の意義を踏まえつつ述べなさい。

ここに、下記文献の該当箇所の抜粋が入ります。

文献：市川伸一『現代心理学入門3 学習と教育の心理学』岩波書店、  
1995年、p133

該当箇所：「教育における測定と評価」